L-SHIFT シフト管理システム

パスキーかんたんガイド

パスワードの代わりに、指・顔・暗証番号でログインできる仕組みです。登録は自由で、パスワードもこれまでどおり使えます。わからないことは、事業所の管理者にお問い合わせください。

たとえるなら

パスワードは「合言葉」。パスキーは「あなたの指でしか開かない鍵」です。

パスワード（合言葉）	パスキー（指で開く鍵）
知っている人なら**誰でも**入れます。のぞき見や、聞き出されることがあります。	鍵はあなたのスマホの中。**あなたの指や顔**で確認したときだけ開きます。

設定すると ログインがこう変わります

いままで

メールアドレスを入力
パスワードを入力
「ログイン」を押す

→

パスキーを設定すると

「パスキーでログイン」を押す
指・顔・暗証番号で確認
おわり（入力なし）

くらべてみると よい点と気をつける点

よい点

覚えなくていい

> **例）**パスワードを付箋に書いて、モニターに貼っておく必要がなくなります。

パスワードが知られても入られない

> **例）**誰かにパスワードを見られても、あなたのスマホと指がなければ L-SHIFT には入れません。

偽物にだまされない

> **例）**「L-SHIFT です。ログインしてください」という偽のメールから、本物そっくりの偽サイトを開いても、パスキーは反応しません。

気をつける点

鍵をしまった端末が手元にないと使えない

> **例）**スマホを家に忘れた日は、パスキーが使えません。その日はパスワードでログインしてください。

共用のパソコンにしまうと、誰でも使える

> **例）**事務所の共用パソコンに登録すると、次にそのパソコンを使った人が、あなたとしてログインできてしまいます。（下の黄色い欄を見てください）

端末をなくしたら、鍵の削除が必要

> **例）**スマホをなくしたときは、パスワードでログインして古いパスキーを削除します。

設定のしかた 最初に1回だけ

1. いつもどおりログインすると、右上に「パスキーを登録しませんか？」と出ます。`登録する` を押します。
   「あとで」を押すと7日間は出ません。出ないときは、右上の人のマーク →「パスキー（指紋・顔でログイン）」
2. 「この端末の名前」を確認して、`パスキーを登録する` を押します。
   例:「山田の業務用スマホ」。あとで見分けるための名前です。
3. スマホやパソコンが「指・顔・暗証番号」を聞いてくるので、いつもの方法で確認します。「パスキーを登録しました」と出たら完了です。

次回から ログインのしかた

1. ログイン画面の下にある `パスキーでログイン` を押します。
2. 指・顔・暗証番号で確認します。
3. ログインできます。
   いくつかの画面を使える方は、使いたい画面を選ぶ表示が出ます。

スマホの種類ごとに **iPhone の場合・Android の場合**

どちらのスマホでも使えます。鍵(パスキー)をしまう場所と、確認のしかたが少し違います。

iPhone の場合

鍵をしまう場所	iPhone の「パスワード」(iCloud キーチェーン)
確認のしかた	顔(Face ID)・指(Touch ID)・iPhone のパスコード
事前の準備	Face ID かパスコードを設定しておく
ほかの端末では	同じ Apple アカウントの iPhone・iPad・Mac でも使えます

Android の場合

鍵をしまう場所	Google パスワード マネージャー(Samsung の機種は「Samsung Pass」でも可)
確認のしかた	指紋・顔・画面ロックの暗証番号やパターン
事前の準備	画面ロック(指紋・顔・暗証番号など)を設定し、Google アカウントでログインしておく
ほかの端末では	同じ Google アカウントの Android や Chrome でも使えます

- **iPhone と Android の間では、鍵は引き継がれません。**iPhone から Android に替えたときは、もう一度登録してください。
- 共用パソコンで QR コードを読み取る使い方(下の黄色い欄)は、どちらのスマホでもできます。
- 「6桁の番号が出るアプリ」(Google Authenticator など)には登録できませんが、問題ありません。
- 業務用スマホを**複数人で共用**している場合は、共用パソコンと同じく、誰でもその人としてログインできてしまいます。パスキーは**1人1台**のスマホに登録してください。

パソコンをほかの職員と共有している方へ

共有しているパソコン自体にパスキーを設定すると、パスキーの意味がほとんどなくなります。**ほかの職員とパソコンを共有している場合は、パスキーを個人または業務用のスマートフォンに登録することをおすすめします。**

× 共用パソコンに登録

例: 夜勤の A さんが事務所のパソコンに登録。翌朝、同じパソコンを使った B さんが「パスキーでログイン」を押すと、A さんとして入れてしまいます。

○ 自分のスマホに登録

例: A さんは自分のスマホに登録。B さんが同じパソコンで「パスキーでログイン」を押しても、A さんのスマホと指がないので入れません。

登録やログインのときに「別のデバイス(スマートフォン)を使用」を選ぶと QR コードが出るので、自分のスマホのカメラで読み取ります。パソコンの Bluetooth(ブルートゥース)が入っている必要があります。

管理者の方へ **職員が退職・異動したとき**

退職した人のスマホにパスキーが残っていても、管理者が L-SHIFT からその人を外せば、もうログインできません。

例: 鍵(パスキー)を返してもらえなくても、ドアの鍵穴(L-SHIFT 側の登録)を外してしまえば、その鍵ではもう開きません。

1. 管理者の画面の「ユーザー管理」で、退職した方のメールアドレスの「解除」を押します。
2. 念のため、同じ方の「パスキー削除」も押しておくと安心です(パスキーを登録していた方にだけ表示されます)。

注意: 複数のチームに登録されている方は、**すべてのチームで解除**してください。1つのチームだけ解除しても、ほかのチームにはパスキーでログインできてしまいます。

よくある質問 **困ったとき**

パスキーがうまく使えない

これまでどおり、メールアドレスとパスワードでログインできます。

スマホをなくした・機種を変えた

パスワードでログインして、右上の人のマーク → 「パスキー」から古いものを「削除」し、新しいスマホで登録し直します。自分で消せないときは、事業所の管理者に「パスキーを削除してほしい」と伝えてください。

指紋や顔の情報は送られるの？

送られません。指や顔の確認はスマホやパソコンの中だけで行われ、L-SHIFT には届きません。